持続可能なインパクトを生み出そう

Rotary 福井東ロータリークラブ会報

ROTARY CLUB OF FUKUI EAST

FUKUI RI D2650
2026－2027

第 2232 号
令和８年 10 月５日発行

会　長　山内喜代美　　幹　事　山崎雅由樹
副会長　奥村　繁子

事務所　〒910-0854 福井市御幸3丁目10番20号 近藤ビル2F
TEL 0776－29－0775　FAX 0776－29－0150
E-mail：ferc2650@ruby.ocn.ne.jp
ホームページ　http://www.fukui - east - rc.jp

国際ロータリーテーマ
「持続可能なインパクトを生み出そう」
RI会長　オラインカ・ハキーム・ババロラ

クラブ目標
「Re-Enjoy Happiness」
～楽しさを再発見し、ともに幸せを分かち合おう～

ガバナー月信はこちら↓
最新号から過去の分までご覧頂けます。

本日のプログラム　第2304回

卓話　NPO 法人　福井芸術・文化フォーラム
理事長　山下　善久　氏
演題「福井芸術・文化フォーラムの活動及びイベント告知」

今後の予定

10 月 12 日（月）休会（スポーツの日）
10 月 19 日（月）卓話　（株）福井ブローウィンズ　代表取締役　湯本　眞士　氏
演題「プロスポーツの力で福井をにぎやかに
～福井ブローウィンズが目指す、スポーツを通じたまちづくりと地域の未来」
10 月 26 日（月）クラブフォーラム③　ＩＭについて

会長あいさつ



会長　山内 喜代美

先週はシルバーウィークということで、連休でした。私としてはみんなと一緒に休むのではなく、平日に休みをとって出かける方が好きなのですが、皆さんはどのように過ごされましたか。

そのシルバーウィークの初日に、オレンジハート運動が実施されました。参加してくださった皆さんお疲れ様でした。

オレンジハート運動は、９ 月の「認知症月間」および 9 月 21 日の「認知症の日（世界アルツハイマーデー）」に合わせて、認知症への理解と関心を深めるために実施されている啓発活動です。

今年も昨年に引き続き、フォトコンテストを開催いたしました。

福井東ロータリークラブ賞には、蕎麦畑を走るオレンジ色の越美北線の写真を選ばせていただきました。入賞された女性のご主人は認知症なのだそうです。カメラが趣味で、一緒に撮影に出掛けていたそうですが、認知症が進んだ今も、2 人で一緒に撮影に行くのが楽しみという姿に心を打たれました。

その後は「ボケますからよろしくお願いします」というドキュメンタリー映画を見ました。家族が認知症になっていく姿を見て、ときにはコミカルにときには辛辣に描かれていて、涙が溢れながらも家族のつながりや愛情に感動いたしました。とてもよかったです。

さて、本日はクラブフォーラムです。より詳細に IM の役割分担についてお伝えさせていただき、皆さんのご協力を得られたらと思います。いよいよ始まりますね。どうぞよろしくお願いいたします。



会員の皆様からの俳句・短歌投稿のご紹介　10月

内田一彦　会員

インフルエンザ流行始まる

・「インフルよ　早やお出ましか　狂ひ咲き
　季節のハグに　咳き込む残暑」
・「なほ残暑　熱中症か　いんふるか
　恋の微熱は　問診あらず」
・「新米や値札優しく　手招きす
　古りたる御米　山となりをり」



認知症の映画をみて

・「呆けゆきて　心の波の激しさに
　戸惑ひつつも　寄り添ひ暮らす」

伊藤潤一郎　会員

昨日の日曜日に家内と朝倉氏遺跡にドライブして

・「彼岸花　早や色あせて　肩落とす」



月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
福井東　アオッサ3F ※丸　岡　丸岡城のまち コミュニティセンター	※福井フェニックス ザ・グランユアーズフクイ 福井南　アオッサ3F 勝　山　勝山市民交流センター2F 若　狭　ホテルせくみ屋 武　生　武生商工会館	福井北　ザ・グランユアーズフクイ 敦　賀　福井銀行敦賀支店2F 大　野　大野商工会館1F	福　井　ザ・グランユアーズフクイ 福井西　福井アカデミアホテル2F ※福井水仙　福井パレスホテル 武生府中　越前たけふ農協会館 敦賀西　プラザ萬象	三　国　三国オーシャン リゾート＆ホテル 鯖　江　鯖江商工会館3F 福井あじさい　アオッサ3F

※は夜間例会クラブ(18：30～)　※は夜間例会クラブ(19：00～)

米山奨学生 卓話②

ワン ジア シェンさん



マレーシアではイスラム教が最も多く、特にマレー系の人々が信仰しています。しかし、それ以外にも仏教、キリスト教、ヒンドゥー教など、さまざまな宗教が共存しています。そのため街を歩いていると、モスクだけではなく、中国寺院、ヒンドゥー寺院、教会など、いろいろな宗教施設を見ることができます。日本では普段の生活の中で宗教をあまり意識しない方も多いと思いますが、マレーシアでは宗教が食事、服装、生活習慣などに大きく関係しています。例えばイスラム教では、豚肉を食べることやお酒を飲むことは禁止されています。また、1日5回のお祈りがあり、金曜日には礼拝があります。女性は髪の毛や肌を露出しすぎないようにすることもあります。
そして、イスラム教にはラマダンという約1か月の断食期間があります。ラマダンの期間中は、日の出から日没まで飲食をしません。

ここで、ハラルについても少し説明したいと思います。ハラルとは、イスラム教の教えで「許されているもの」という意味です。食べ物の場合、単に豚肉やお酒を避ければいいということではなく、食材や調理方法などにも決まりがあります。そのため、マレーシアではレストランや食品などにハラル認証のマークが付いていることがよくあります。この認証があることで、イスラム教徒の方は安心して食事をすることができます。私たちもイスラム教徒の友人と一緒に食事をするときには、相手が安心して食べられるように、ハラルのお店を選ぶことが多いです。これはマレーシアでは特別なことではなく、異なる宗教を持つ人たちと一緒に生活する中での、ごく自然な配慮の一つです。

次は、言語の多様性について紹介します。
これは私がマレーシア文化の中でも特に面白いと思っているところです。マレーシアの国語はマレー語です。学校教育でもマレー語を学びます。しかし、ビジネスや国際交流では英語も非常に広く使われています。
さらに、中華系では中国語やさまざまな中国語の方言、インド系ではタミル語など、それぞれの民族の母語も使われています。そのため、マレーシアでは複数の言語を話せる人が珍しくありません。さらに、中華系の中だけを見ても非常に多くの言葉があります。
例えば福建語、客家語、広東語、潮州語、海南語、福州語、標準中国語などです。地域や家庭によって使う言語が違います。そのため、同じ中華系マレーシア人同士でも、家庭で話している言葉が全く違うことがあります。
そして、マレーシアの言語文化で特に面白いのが、一つの文章の中に複数の言語を混ぜて話すことです。
こちらのスライドの会話を見ていただくと、中国語を話していたと思ったら、突然英語が入って、その次にマレー語や広東語が入っています。
中国語、英語、マレー語、福建語、広東語などを、一つの会話の中で自然に混ぜることがあります。
私たちは「今から英語に変えよう」と考えているわけではありません。自然に言葉が出てきます。

日本に来てから、こういう話し方を説明すると皆さんに驚かれるので、「自分たちの話し方は結構特殊なんだな」と改めて気付きました。

次は、マレーシアの食文化です。
マレーシアでは、マレー系、中華系、インド系など、さまざまな民族の食文化が融合しています。スパイスやココナッツミルクを使った香りの強い料理も多く、ナシレマ、チャークイティオ、ロティチャナイなど、さまざまな代表料理があります。
また、イスラム教など宗教による食習慣の影響も非常に大きいです。そしてマレーシアには屋台やフードコートも多く、比較的気軽にさまざまな民族の料理を楽しむことができます。こちらの写真を見ていただくと、本当にいろいろな料理があります。
例えばナシレマは、ココナッツミルクで炊いたご飯に、サンバル、卵、ピーナッツなどを合わせた料理で、マレーシアを代表する料理の一つです。サテーは串焼き料理で、ピーナッツソースなどを付けて食べます。
ロティチャナイはインド系の料理ですが、現在では民族に関係なく多くのマレーシア人が食べています。
つまり、「これはマレー系の料理だからマレー系しか食べない」ということではありません。他の民族の料理も、みんな普通に食べています。これもマレーシアの多文化社会の面白いところだと思います。

次は、祝祭日と伝統行事についてです。
マレーシアは多民族・多宗教の国なので、さまざまな民族や宗教の祝祭日があります。代表的なものとして、Hari Raya、Chinese New Year、Deepavali などがあります。
祝祭日には家族や親戚が集まり、伝統料理を食べたり、一緒に時間を過ごしたりします。また、自分とは違う民族の行事に参加することもあり、異文化交流の機会にもなっています。

マレーシアの祝日には、独立記念日、Hari Raya Aidilfitri、Hari Raya Haji、Chinese New Year、Deepavali、Christmas、国王誕生日などがあります。
つまりイスラム教だけではなく、中国系、インド系、キリスト教など、さまざまな文化や宗教に関係する祝日があります。
子どもの頃の私は、そんなに深く考えずに「休みがたくさんあって嬉しい」と思っていました（笑）。でも今考えてみると、この祝日の多さ自体がマレーシアの多文化社会を表していると思います。
まず、Hari Raya Aidilfitri です。
これはイスラム教徒にとって非常に大切な祝祭日です。イスラム教の断食月であるラマダンが終わったことを祝います。よく「1か月間断食するお祭り」と誤解されることがありますが、Hari Raya 自体は、断食月が終わったことを祝う日です。
日本のお正月のように家族や親戚が集まり、伝統衣装を着たり、モスクへお祈りに行ったり、みんなで料理を食べたりします。そして特徴的なのが Open House です。家を開放して、家族だけではなく友人や知人も招きます。そこにはマレー系だけではなく、中華系やインド系など、違う民族の友人が参加することもあります。つまり、自分とは違う宗教の行事でも、友人として一緒に楽しむことができます。

次は、Chinese New Year、旧正月です。
これは私たち中華系マレーシア人にとって、最も大きな伝統行事の一つです。
離れて暮らしている家族も帰省して、大晦日には家族みんなで Reunion Dinner を食べます。
日本のお正月に家族が集まるのと少し似ています。
また、赤は幸運を表す色なので、この時期になると街やショッピングモールが赤い飾りでいっぱいになります。子どもや未婚の若者などには Ang Pow、つまり日本でいうお年玉を渡します。
獅子舞もショッピングモールやお店など、いろいろな場所で見ることができます。
そして Chinese New Year でも Open House を行う

家庭があり、マレー系やインド系の友人を家に招くことがあります。
　続いて、Deepavali です。
Deepavali はヒンドゥー教の「光の祭典」です。
「光が闇に勝つ」「善が悪に勝つ」ということを象徴するお祭りです。家を掃除してきれいに飾り、新しい服や伝統衣装を着て、ヒンドゥー寺院を訪れてお祈りをします。家の入口には Kolam と呼ばれるカラフルな模様を作り、オイルランプを灯します。
そして家族や友人とインド料理やお菓子を楽しみます。Deepavali でも他民族の友人を Open House に招くことがあります。
このように、Hari Raya、Chinese New Year、Deepavali はそれぞれ違う民族・宗教の行事ですが、「家族が集まる」「料理を一緒に食べる」「友達を招く」という共通点もあります。
そして、ここまで紹介してきた内容の中で、今日私が特にお伝えしたいのが、異文化との共生です。違う民族や宗教を持つ人たちが一緒に生活するためには、お互いへの配慮が必要です。
例えばラマダンの時期には、イスラム教徒が断食している時間帯なので、目の前での飲食を控えるなどの配慮をすることがあります。マレー系の友人と食事に行くときには、ハラルのお店を選びます。
また、ヒンドゥー教徒には牛肉を避けるなど、相手の宗教に合わせてお店や料理を考えます。
そして Hari Raya、Chinese New Year、Deepavali、Christmas など、自分とは違う民族や宗教のお祝いにも参加します。
ヒジャブを着用する人や、お祈りのために途中で席を外す人がいても、それを特別なことではなく、日常のこととして受け入れています。
言語についても同じで、相手や場面によってマレー語、英語、中国語などを使い分けます。
もちろん、マレーシアでも民族や宗教の間に全く問題がないというわけではありません。
しかし日常生活では、「自分とは違う文化を持っている人がいる」ということを前提として生活するという感覚があります。
私は、これがマレーシアにおけるダイバーシティの大きな特徴だと思っています。
そして、ここでマレーシアの異文化共生を象徴するような、少し面白い場所を紹介したいと思います。
それが Mamak です。Mamak は簡単にいうと、マレーシアのいたるところにある食堂です。24 時間営業のお店もあり、いろいろなジャンルの料理があって、値段も安いです。学生も会社員も家族も利用します。一見すると普通の食堂なのですが、私はここを「世界で一番平和な場所」と表現しました。
その理由が、次の写真です。
これは 2016 年のリオオリンピックで、マレーシアの Lee Chong Wei 選手と Lin Dan 選手が対戦したときの様子です。
バドミントンはマレーシアで非常に人気があります。
こういう大きな試合があると、Mamak にたくさんの人が集まって、みんなで同じテレビを見ながらマレーシアを応援します。
普段はマレー語を話す人、中国語を話す人、タミル語を話す人など、民族も宗教も言葉も違います。
でも、この瞬間はみんな同じマレーシア人として、一緒に応援します。私はこういう景色を見ると、「これがマレーシアだな」と感じます。
そして最後に、少し気軽な話として、「マレーシアでは普通だけれど、日本では珍しいこと」をいくつか紹介します。
例えば、豚肉の売り場です。宗教の関係から、普通のスーパーでも豚肉が他の商品とは分けられていることがあります。また、手で食事をする文化もあります。持ち帰りの飲み物をビニール袋に入れて渡すお店もあります。朝早くにはモスクから礼拝の呼びかけが聞こえることがあります。
マクドナルドにもご飯のメニューがあります。
映画館では、日本よりもお客さんのリアクションが大きく、面白い場面ではみんなで笑ったりすることもあります。
　そして渋滞も非常に多いです。
一年中暑いので、外では短パンやサンダルで過ごす人も多いです。こうしたことは、私がマレーシアに住んでいた頃には全部「普通のこと」だと思っていました。しかし、日本で生活するようになって初めて、「これはマレーシア独特の文化だったんだ」と気付くことがたくさんありました。
　最後になりますが、今日はマレーシアの多民族、多宗教、多言語、食文化、祝祭日、そして異文化との共生について紹介しました。
マレーシアでは、民族も宗教も言葉も違う人たちが、同じ社会の中で生活しています。もちろん、文化や価値観が違うからこそ難しいこともあります。
しかし大切なのは、自分と違う文化を否定するのではなく、「この人にはこの人の文化がある。自分とは違うけれど、それを尊重しよう」ということだと思います。
私自身、日本へ留学して、大学生活やロータリーでの活動を通して、日本の皆さんとも交流する中で、異なる文化を知り、理解し合うことの大切さを改めて感じています。
　今日の卓話を通して、皆さんに少しでもマレーシアという国を身近に感じていただけたら嬉しいです。
そして、もしマレーシアへ行く機会がありましたら、有名な観光地を見るだけではなく、ぜひ Mamak に行ってみたり、マレー系、中華系、インド系のさまざまな料理を食べてみたりして、マレーシアの多文化社会を実際に体験していただければと思います。
以上で私の発表を終わります。ご清聴ありがとうございました。ご質問やご感想がありましたら、ぜひよろしくお願いいたします。

クラブフォーラム　第2回

IM 開催について

役割ごとグループに分かれて、
意見交換をしました。





貴志実行委員長より
説明がありました。

ニコニコ箱

天谷　嘉伸君　北の庄関、秋場所勝ち越しおめでとうございます！

旭　　信昭君　秋晴れのスッキリした日がなかなかないですね。

林　　利幸君　ようやく秋の訪れを感じる時季となりました。弊社展示会にご来場の皆様に感謝いたします。

細田　国雄君　朝倉氏遺跡も彼岸花、満開です。

池田　一博君　お蔭様で結婚38周年のお祝いしました。これからも離婚されない様に頑張ります。

板谷　茂樹君　水害で各地大変なことになっていますが、なぞかけ「大雨で水かさが増した河とかけまして、「喜びの涙」とときます。その心は、「どちらもあふれ出すでしょう」

伊藤潤一郎君　ちょっと失敗した事があって。

岩佐　武彦君　雨が続いています。気が晴れませんが元気に例会過ごしましょう！

貴志　英生君　連休中に千葉県佐倉市で研究会があり、台風とご一緒させていただき大変でした。

岸田　　清君　皆さん、この先は、ＩＭ成功に向け、互いに頑張りましょうね‼

北﨑　久美君　IMの役割りが決まってきて、いよいよ近づいてきた実感があります。

桑野　統臣君　週末に発症したギックリ腰、無事に治ってホッとしました。

松井　　昇君　最近、私の欠席や連休も多くなり、皆様にお逢いする機会が少なくなり、本日お元気な会員各位のお顔を拝見いたし嬉しく思っております。

水沼　克人君　本日のＩＭクラブフォーラム、どうぞ宜しくお願いします。

皆川　恭英君　秋雨が続き、湿気（度）の高い日が多いので、体調管理に注意して頑張ります

中村美喜子君　疲れがとれないのは年のせいでしょうか。

中村　裕行君　本日のクラブフォーラム宜しくお願いいたします。

大須賀孝周君　気温も少し落ち着いて楽になりました。このまま秋になってほしいです。

嶋﨑　元博君　最近の天候、気になります。十分気を付けましょう。
秋の健康診断よろしくお願いします。

田川　晃敏君　涼しくなりましたね。

鳥山　恵輔君　早いもので、今年もあと３ヵ月になっちゃいましたね！

内田　一彦君　10月～11月は、行事がめじろ押しですね。頑張りましょう。

宇野　俊之君　今年で結婚30周年になりました。来週は、記念旅行に行ってきますので欠席いたします。

渡辺　寛幸君　秋になりました。朝夕めっきり涼しくなり、食欲も沸いてきました。お互いに頑張りましょう。

山口　末雄君　ＩＭまであと２ヶ月半。皆さん頑張りましょう。

山内喜代美君　9/19、オレンジハート運動参加の皆さん、お疲れ様でした。本日のクラブフォーラム宜しくお願いします。

山崎雅由樹君　ＩＭ開催に向けて、一致団結！

例会変更のご案内

※ビジター受付

三国ＲＣ
10月2日→10/5　合同公式訪問
10月9日　休会
※10/2・10/9　12:00～12:30
三国オーシャンリゾート＆ホテルフロント

勝山ＲＣ
10月6日　米山奨学生卓話
※10/6　例会ビジター 10/5 午前中までに事務局に連絡ください

福井南ＲＣ
10月6日　休会
10月13日　ガバナー合同公式訪問
10月20日　休会　※両日全日なし

福井ＲＣ
10月8日　夜間例会
10月22日　休会
※10/8　ザ・グランユアーズフクイ 1F　12:00~12:30

福井あじさいＲＣ
10月16日　休会
10月23日　異業種交流例会　※両日なし

◆MAKE-UP（敬称略）

9月14日【第9回地区ＲＡ委員会】
林　利幸

9月28日【福井東RAC9月第2例会】
青山陽之、林　利幸、中村綾菜、田川晃敏、内田一彦、山内喜代美

10月1日【ポリオ募金決起集会】
内田一彦

多くの善意のご寄付ありがとうございます　9／28　累計

ニコニコ箱　現金	31,000円	394,000円
ニコニコ箱　ギフトカード	3,000円	14,000円
米山記念奨学会		628,000円
ロータリー財団年次寄付		676,800円
ロータリー財団恒久基金（ベネファクター）		
ロータリー希望の風奨学金		165,000円
ポリオプラス寄付金		172,800円

例会出席状況

会員　47名（出席免除会員４名うち休会１名・休会者３名）＋名誉会員１名　計48名

会員出席　35名（出席免除会３名）（出席率81.40%）　合計　35名

事務所／〒910-0854 福井市御幸３丁目10-20　近藤ビル2F　TEL0776-29-0775　FAX0776-29-0150　会員数／47名
姉妹クラブ／中壢東區扶輪社（台湾）友好クラブ／長浜北ＲＣ